



創作の原動力は、  
戦争への  
怒りと悲しみだった。

生涯をかけて描き続けた平和へのメッセージ。

# 四國五郎展

2019年10月1日(火) - 12月27日(金) 会期中、一部展示資料の入替えを行います。

開館時間 / 9:30 ~ 17:30 (入館は17:00まで) 休館日 / 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は火曜日)

平和祈念展示資料館(総務省委託)

新宿住友ビル33階 東京都新宿区西新宿2-6-1 Tel.03-5323-8709  
<https://www.heiwakinen.go.jp>

入館  
無料

生涯をかけて描き続けた平和へのメッセージ。

# 四國五郎展

近年、注目を集めている画家、四國五郎（1924-2014）。彼は、3年間のシベリア抑留を経験しました。栄養失調と酷寒の中での重労働で体を壊しますが、療養中の病院で得意な絵が認められ、壁新聞や雑誌の表紙、挿絵に腕を振ります。1948年に帰国後、広島に復員し弟の被爆死を知ります。その時に感じた戦争への怒りと悲しみが、彼の創作の原動力となります。記憶が薄れないうちに描いた1000ページにも及ぶ「わが青春の記録」。原爆詩人の峠三吉との共作「辻詩」。平和を祈念する数々の

「母子像」。さらに、67歳にして参加したシベリア墓参・慰霊の旅を契機に描き始めたシベリア抑留の油彩や水彩など、生涯にわたって平和のための創作活動に命を燃やし続けました。



制作中の四國五郎



1946年5月フルムリ地区ゴーリン病院  
「最初の一枚」



「絵本 おこりじぞう」



「1946年埋葬者を運ぶ  
私を写生する1993年の私」



ナホトカ・スケッチ  
「中村さん」



「豆日記」と、  
それを元に描いた「わが青春の記録」

## 【四國五郎略年譜】

- 1924年 広島県に生まれる。
- 1944年 陸軍入隊、満州・琿春の歩兵 247 聯隊所属。
- 1945年 終戦後、シベリアの収容所に抑留される。
- 1946年 重病を患い入院。退院後、似顔絵や漫画、ポスター、芝居の脚本などを書く。
- 1948年 10月に帰国命令を受け、帰国。
- 1949年 峠三吉の誘いで「われらの詩の会」に参加。サークル誌の表紙を担当し詩も発表する。反戦・反核ポスター「辻詩」を制作。
- 1951年 峠三吉「原爆詩集」の表紙と見返し絵を描く。
- 1955年 広島平和美術展を仲間と創設。四國は母子像を数多く出品。
- 1979年 「絵本 おこりじぞう」の表紙絵と挿絵を担当。
- 1991年 「シベリア墓参・鎮魂の旅」に参加。
- 1994年 新聞に連載の「シベリア抑留史— たたかった兵士の記録」の挿絵全 65 枚を描く。
- 2014年 脳出血で逝去。享年 89。

## 企画展関連イベント（参加無料・予約不要）

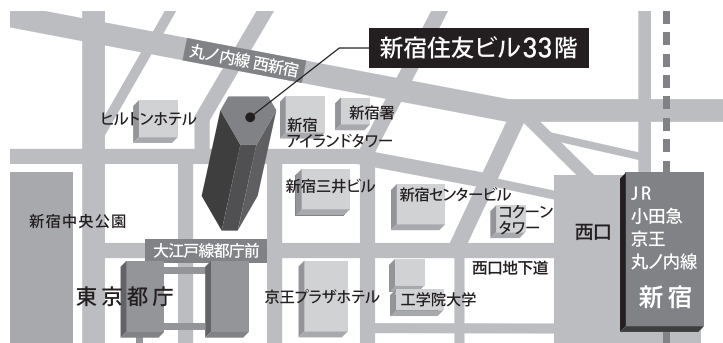
### ■ 企画展関連講演会

講師：四國光（四國五郎氏長男）  
演題：父・四國五郎の芸術活動を語る  
日時：2019年10月6日（日）14時～15時

講師：小林昭菜（多摩大学専任講師）  
演題：四國五郎とシベリア抑留  
日時：2019年11月16日（土）14時～15時

### ■ ギャラリートーク

学芸員による展示解説を行います。  
日時：2019年10月5日（土）、11月16日（土）、12月7日（土）  
各日とも13時～（約30分）



- 都営大江戸線（都庁前）駅より徒歩約3分
- 東京メトロ丸ノ内線（西新宿）駅より徒歩約7分
- JR線、小田急線、京王線（新宿）駅西口より徒歩約10分